

指定管理者評価表

施設名	行田市はにわの館
施設所管課	教育委員会生涯学習スポーツ課

I プロセス評価

1 施設、設備の維持管理への取組み

評価項目	1次評価者（指定管理者）による評価		2次評価者（施設所管課）による評価	
	評価点	評価の理由/実績など	評価点	評価の理由
① 建物、施設設備等の保守点検は適切に行われていたか。	3	点検を適正に行い記録を作成している。 スタッフによる日常的な点検の他、業者による定期的な点検を行い、点検等の不備による事故は発生していない。日常点検は業務日誌に記録し、業者が実施する定期点検は報告書をもって、適正な管理運営を行っている。	3	日常点検は記録簿の作成とともに適正に実施されている。また、建物、施設設備等の保守点検も定期的に実施されている。
② 清掃等快適な施設利用のための取組みがなされていたか。	4	取り組んでいる。 日常清掃に加え、建屋周りの除草作業、消毒などの感染症対策を万全に取組み、管理運営を行っている。	4	日常清掃、除草作業等が適正に実施されている。
③ 修繕箇所の把握及び修繕は適切に行われていたか。	3	速やかに修繕を行っている。 実施した修繕 1 男子トイレ詰まり除去修繕	3	修繕が適切に実施されている。
④ 備品の管理状況は適切であったか。	3	備品の毀損滅失する事例なし。管理を適正に行っている。	3	適正に管理されている。
13		2次評価合計	13	

2 サービス向上への取組み

評価項目	1次評価者（指定管理者）による評価		2次評価者（施設所管課）による評価	
	評価点	評価の理由/実績など	評価点	評価の理由
① 事業計画を作成し、その計画に沿って実施したか。	4	事業計画に則し事業を実施した。 自主事業計画において7事業を提案したが、指定管理料の範囲内でPR事業を上乗せし、8事業を実施した。 1 はにわづくり体験事業 2 はにわづくり連携・協力事業 ・日本自動車連盟（J A F）連携事業 ・タイムズクラブ（パーク2 4 街）連携事業 ・イオンクレジットサービス株式会社 ・マイリフレッシュ事業（公立学校教職員組合埼玉支部） ・さきたま史跡の博物館相互連携事業 ・古代運命館との相互割引サービス事業 ・ふるさと納税記念品協力事業（行田市） ・行田市まちづくり出前講座（行田市） ・行田創生RPGゲームアプリの提供（行田市） 3 はにわづくり出張講座 ・古代運命館（開花期間中に2回） ・産業文化会館（イベント開催日1/21に1回） 4 古墳公園の賑わい“感謝デー” ・公園内イベント開催日に粘土料金引きを実施 5 小物作製講座 ・はにわづくりの粘土を使用した小物作製講座を実施 6 はにわ小物販売事業 ・はにわをモチーフとしたオリジナルグッズを作製し、館内や市内イベントにおいて販売を実施（はにわ置物、マグネット、はにわストラップ等） ガチャマシンを設置し、PRを図った。 7 はにわ作製依頼請負事業 8 はにわの館PR事業 ・ポスター及びパンフレット配布 ・ホームページ、Twitter、You Tubeを活用 ・マスコミ等への取材協力 ・情報誌等への掲載	4	事業計画に基づき実施されている。
② 市民及びNPO等と連携・協働し、施設を活用していたか。	4	活用している。 1 公立学校教職員組合埼玉支部との連携により、マイリフレッシュ事業を実施し施設活用を促した。 2 さきたま史跡の博物館との連携により、双方のPRを実施した。 3 行田市との連携によりふるさと納税返礼品協力事業を実施した。 4 行田市との連携により、行田創生RPGゲームアプリのクーポン券提供事業を実施した。 5 行田市まちづくり出前講座事業に登録した。	4	各種団体と連携し、多数の事業を実施した。

指定管理者評価表

③ 適切に職員が配置されていたか。	3	<p>適切に配置している。 資格（防火管理者）を有する職員を事業部内に配置している。 また、はにわづくりに関して、専門的技術及び知識を有したスタッフを配置している。</p>	3	防火管理を有する職員を事業部内に配置している。また、はにわづくり指導員についても配置している。
④ 窓口等での接客態度は、利用者に不快な思いをさせることなく、適切であったか。	3	<p>適切に対応している。 接客対応について、はにわづくりの指導以外にも受付や市内観光案内など、ていねいな接客を行っている。</p>	3	特に苦情等なし。
⑤ 利用者の意見、苦情、要望等を抽出するための仕組み作りがされていたか。	4	<p>以下のとおり、把握を行っている。 1 利用者への意見聴取 2 Eメールでの意見募集 3 意見箱の設置 4 イベントでのアンケート</p>	3	利用者アンケート等で意見や要望を把握している。
⑥ 意見、苦情、要望等への対応や問題解決に向けた体制が構築されていたか。	3	<p>意見等が出た際は取りまとめを行い、改善を図っている。 1 利用者に対する注意喚起の掲示 2 利用者との積極的なコミュニケーションによるニーズの把握 3 接遇研修の定期的実施 4 危機管理マニュアルの整備 5 ウイルス等感染防止対策の実施 6 ホームページやSNSによる情報提供</p>	3	意見や要望等に対応する体制が複数とられている。
⑦ 職員間において情報共有が頻繁に行われる体制が構築されていたか。	3	<p>構築されている。 業務日誌の作成を行い情報共有に努めている他、連絡網を作成し緊急の場合にも備えている。</p>	3	業務日誌等を用いて情報共有の体制がとられている。
⑧ 職員の資質向上に向けた取組みが行われていたか。	3	<p>行っている。 業務内容の確認や技術研修を行っている。 1 スタッフミーティング 2 接遇研修 3 はにわづくり技術研修</p>	3	接遇研修やはにわづくり技術研修を行っている。
⑨ 創意工夫による事業を立案し、計画的かつ適切に実施できたか。	4	<p>事業目的を達成している。 各事業について、以下のとおり目的を達成した。 1 はにわづくり体験事業 市民や観光客等に対し、子どもから大人までにはにわづくりを体験してもらうことで歴史教育及び文化の振興に貢献できた。 2 はにわづくり連携・協力事業 ・日本自動車連盟（JAF）、タイムズクラブ（パーク24株）及びイオンクレジットサービスと連携事業を行い、当該団体の会員を対象とした優待事業（粘土代割引）を実施することで、会報等に情報を掲載してもらい、利用促進を図った。 ・マイリフレッシュ事業については、公立学校教職員組合埼玉支部との連携により、県内公立学校の教職員の利用促進を図った。 ・さきたま史跡の博物館と連携し事業を行うことで、相乗効果による利用促進を図った。 ・「ふるさと納税返礼品協力事業」については、行田市にふるさと納税を行った方への商品として、はにわの館利用チケットを提供することで、行田市のPRに貢献するとともに利用促進を図った。 ・「行田市まちづくり出前講座」については、教育委員会の実施する事業に賛同し、市民から希望があった場合は活動場所に出向き、はにわづくり体験の指導及びPRすることで、利用の促進を図った。 ・「行田創生RPGゲームアプリクーポンの提供」については、ゲーム中に獲得する割引クーポンを提供することで、行田市のPRに貢献するとともに利用促進を図った。 3 はにわづくり出張講座 市内外問わず、多くの方が集まる「開花期の古代蓮の里」や産業文化会館のイベント事業に出向き、はにわづくり体験をしてもら</p>	3	多数の事業を実施し、利用者への満足度及びサービスの向上に努めている。

指定管理者評価表

	<p>うことで、はにわの館のPR及び利用促進を図った。</p> <p>4 古墳公園の賑わい“感謝デー” 古墳公園のイベント時にさきたま史跡の博物館と連携し事業を行うことで、相乗効果による利用促進を図った。</p> <p>5 小物作製講座 はにわづくりの粘土を使用した実用的な小物を作製することで、リピーターの獲得等利用促進を図った。</p> <p>6 はにわ小物販売事業 はにわの館スタッフの手作りによるはにわの館スタッフの手作りによるはにわをモチーフとしたマグネット、ミニはにわ、ストラップなどの子ども向け商品や本格的なはにわのレプリカなど、幅広い世代のニーズに対応した商品を作製販売を行い、はにわの館、さらには行田市のPRに寄与した。</p> <p>7 はにわ作製依頼請負事業 第37回鉄剣マラソン実行委員会からの依頼により、土器（優勝）カップの請負作製を実施し、質の高い商品を提供した。</p> <p>8 はにわの館PR事業 従来から展開していた近隣施設へのポスター・パンフレットの配布に加え、ホームページやTwitter、You Tube、新たにLINEを活用したPR活動やマスコミ等への取材協力、情報誌掲載、市主催</p>	
<p>⑩ 利用者の利便性向上に向けた取組みが行われているか。</p>	<p>4 行っている。以下のとおり、順調に達成している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 日常の施設巡回を実施し、安全な施設づくりに努めた。 2 受動喫煙防止対策を実施し、利用者の健康に配慮した。 3 新型コロナウイルス感染防止の徹底（消毒の設置、非接触型体温計の設置）を実施した。 4 市立小学校、市内施設及び近隣の文化会館へポスターやイベントチラシを配布、ホームページやSNSを活用、又マスコミに取材協力をするなど、より多くの人に情報がいきわたるよう努めた。 5 多くの来場者が見込まれる開花期の古代運會館や産業文化会館のイベント開催時において、はにわづくり出張講座を3回開催し、気軽に体験できる機会を提供した。 6 施設利用者の問い合わせや予約受付等に対し、電話やメールなどを活用し、個々のニーズに合った方法で回答を行った。 7 公共施設予約システムを活用し、空席状況を周知した。 8 個々のレベルに合わせたはにわづくりの指導を行うことで、ものづくりの楽しさを提供した。 9 民間業者や公共団体と連携し、（粘土代）割引事業を実施することで、お得にはにわづくりを体験できる機会を提供した。 10 遠方の利用者に対し、焼きあがった作品の発送サービスを実施し、便宜を図った。 11 窯焼きをしなくてもはにわ調の色をした粘土を利用し、作製日当日の持ち帰りを可能にした。 12 完成作品の納品は、窯焼き前に乾燥させるため一定の期間を要するが、可能な範囲で短縮を図り、利用者の希望日に合わせて焼き上げるなど、柔軟に対応した。 13 はにわづくり体験の所要時間は通常1時間30分程度を必要とするが、時間に余裕がない場合でも作製可能な小物作製講座を実施し、便宜を図った。 14 オリジナルグッズの商品を充実させ、土産品として販売することで、時間の都合などではにわづくり体験ができなかった方のニーズに応えた。 15 フリーWi-Fi（フリースポット）インターネットの環境を整え、利用者の利便性に努めた。 16 新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら利用者に対して安全・安心に利用していただくよう努めた。 17 団体予約を受けた際は、園内の屋外レストハウスを借用し、団体の受入れを実施した。 18 QRコード決済を導入し、キャッシュレス化を実現した。 19 市立小学校の先生に作り方の指導及び道具の貸出しを行うことで、校内での体験が可能となった。 	<p>4 公共施設予約システムの活用や、はにわ作り体験で様々な取組みが行われている。</p>
	<p>取組みを行っている。 パンフレットやポスターの配布やSNSを活用した広報を行っている。</p>	

指定管理者評価表

⑪	広報、PR等について十分な取組みが行われていたか。	4	<p>また以下のとおり取組みを行っている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 近隣の文化会館へポスター配布、マスコミに取材協力をするなどの広報活動を実施した。 2 民間業者や公共団体と連携し、(粘土代)割引事業を実施することで、お得にはにわづくりを体験できる機会を提供した。 3 はにわの館の周囲にのぼり旗を設置することで、利用者が館の位置を容易に認知できるよう配慮した。 4 多くの来場者が見込まれる開花期の古代運會館や産業文化会館のイベント開催時において、はにわづくり出張講座を計3回開催し、気軽に体験できる機会を提供した。 	3	パンフレットやSNSを活用し広報を行っている。
⑫	利用者アンケートを実施したか。	3	<p>実施している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 利用時申込受付時の日常会話から聞き取り調査の実施 2 ホームページ内のお問い合わせホームを活用し、意見、要望等の受付 3 意見箱の設置 4 施設利用及び出張講座でのアンケート調査の実施 	3	利用者アンケート等で意見や要望を把握している。
⑬	利用者の意見を反映させる取組みがなされたか。	4	<p>取組みを行っている。</p> <p>利用者アンケートからの意見などは可能な限り運営面に反映している。これまでに以下のとおり実現を図っている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 はにわの館の公園内の立地がわかりづらい。 →のぼり旗の設置や道路側の窓へのポスター掲示により対応した。 2 利用状況を事前に把握したい。 →ホームページに臨時休館の情報や予約のスケジュール表の掲載により情報提供を行い、メールや電話で問い合わせを受けた。 3 完成した作品を引き渡し期間までに取りに行けないので、保管期間を延長してほしい。 →保管期間の延長や発送のご案内を行うことにより、対応した。 4 来館の記念になるものを購入したい。 →気軽に購入できる小物を作製し、販売することで対応した。はにわマグネットのほか、ミニはにわ、はにわ置物、はにわ携帯ストラップのほか、マスクチャームやピアスをラインナップに加え、商品の充実を行った。 5 はにわづくりが難しい。 →従来の指導員による口頭説明に加え、動画や説明書を使い、わかりやすく説明した。 6 市内小学校の校外学習の一環として毎年行っている体験が、利用人数の制限により館内で対応できない。 →先生に作り方を指導し、学校で作製してもらうなどの対応を行った。 7 夏休みの宿題等で作製日当日に持ち帰りたい。 →通常、1カ月乾燥したのち、館内の窯で焼いてから引き渡しとなるが、焼かなくてもはにわ調の色をしている粘土を利用し、当日の持ち帰りを可能にした。 8 はにわづくりを体験したが、都合により、はにわ作品を完成させる時間がない。 →比較的短時間で作製可能な小物の講座を実施することで便宜を図った。 	3	利用者の意見を反映させる取組みがされている。
⑭	(複数の施設を管理している場合) 施設間及び市の施設所管課等と密に連絡を取っていたか。	3	報告は都度行っている。	3	適宜報告がなされている。

指定管理者評価表

3 平等、安全対策への取組み					
評価項目	1次評価者（指定管理者）による評価			2次評価者（施設所管課）による評価	
	評価点	評価の理由/実績など		評価点	評価の理由
① 関係法令（地方自治法、労働関係法令、条例等）が遵守されていたか。	3	遵守している。		3	関係法令を遵守し、それに基づき適切な施設運営が行われている。
② 対応する職員によってサービスの質に差が生じていなかったか。	3	生じていない。 職員のスキルアップのため、研修を以下のとおり行った。 1 スタッフミーティング 2 接遇研修 3 はにわづくり技術研修 4 民間主催職員研修		3	研修等を実施し、対応職員により差が生じないように努めた。
③ 個人情報の保護について職員が理解し、さらにその取組みがなされていたか。	3	行田市個人情報保護条例に準じて策定した財団個人情報保護規程に基づき適正かつ慎重な取扱いをしている。		3	財団独自の規定を定め、適正に事務を行っている。
④ 施設の修繕や日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。	3	早急な修繕及び施設の巡回を行い安全確認を適切に実施している。 実施した修繕箇所は以下のとおり。 1 男子トイレつまり除去修繕		3	職員による巡回により、施設の異常個所の早期発見に努め、安全に配慮した対応を行っている。
⑤ 防犯、防災対策は適切にされているか。	3	適切な対策を取っている。 実施した防犯対策は、以下のとおり。 1 施設の定期的な巡回、点検の実施 2 売上金の早期回収等、現金滞留の抑制 3 近隣施設との連携による情報の共有 4 退館時における在館者有無の確認及び施錠 5 防犯用具（サスマタ・防犯ブザー等）の配置 6 掲示物等による注意喚起の実施 実施した防災対策は、以下のとおり。 1 消火器の使用訓練及び119番通報訓練の定期的実施 2 緊急連絡網の整備 3 危機管理マニュアルの整備 4 消防設備法定点検の確実な履行 5 日常点検による事故・火災につながるものの把握及び除去等の予防対策の実施		3	防犯対策として各取り組みを実施している。
⑥ 利用者が平等に利用できる取組みがなされていたか。	3	サービスの差が生じないように、接遇研修や技術研修を行っている。		3	研修を実施し利用者が平等に施設を利用できるよう努めている。
⑦ 事故または災害発生時の対応体制が構築されていたか。	3	対応体制が構築されている。 1 消火器の使用訓練及び119番通報訓練の定期的実施 2 緊急連絡網の整備 3 危機管理マニュアルの整備 4 消防設備法定点検の確実な履行 5 日常点検による事故・火災につながるものの把握及び除去等の予防対策の実施		3	事故や災害など、リスクに対応するための体制が構築されている。
⑧ 感染症対策が適切に講じられているか。	4	適切に対策を講じている。 実施した対策は、以下のとおり。 1 日常清掃の適切な実施 2 空調機等の定期洗浄の実施 3 水栓箇所薬用石鹸を設置 4 定期巡回による汚損箇所の迅速な発見及び処置 5 ウィルス等感染防止対策として、アルコール除菌剤（手指消毒用）を設置 6 入館時に来館者の検温を実施 7 来館者の把握 8 利用者が使用した後の備品及び机等のアルコール消毒 9 利用者が使用した残土の廃棄 10 入館時並みのアルコール消毒の実施		3	感染症対策が適切に講じられている。

指定管理者評価表

	<p>10 へ説明取進出にノーマルノイヘアノヘンノ相対性</p> <p>11 常時換気を実施</p> <p>12 衛生対策の注意喚起を掲示</p>	
<p>⑨ 地域や関係団体等との連携が図られていたか。</p>	<p>3</p> <p>連携を図っている。 利用者や地域との連携・協働を以下のとおり、実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 公立学校教職員組合埼玉支部との連携により、マイリフレッシュ事業を実施した。 2 さきたま史跡の博物館との連携により、双方のPRを実施した。 3 行田市との連携により、ふるさと納税記念品協力事業を実施した。 4 行田市との連携により、行田創生RPGゲームアプリのクーポン券提供事業を実施した。 5 行田市まちづくり出前講座事業に登録した。 6 行田市主催のイベントに参加しPR及び小物販売を実施した。 	<p>3</p> <p>各関係団体と連携し、多数の事業を実施した。</p>
	28	2次評価者合計 27

指定管理者評価表

4 効率性向上、改善に向けた取組み					
評価項目	1次評価者（指定管理者）による評価			2次評価者（施設所管課）による評価	
	評価点	評価の理由/実績など		評価点	評価の理由
① 問題点の把握に努めていたか。	3	努めている。 メールでの問い合わせやアンケート調査を実施し、意見があった際は迅速に対応している。		3	アンケート調査を実施するなど、問題点の把握に努めていた。
② 新たな取組みへの提案、改善意欲が見られていたか。	3	アンケートなどの情報から、お客様ニーズの把握を行い、自主事業など改善を行っている。		3	利用者からの意見を聞き、事業の改善を図った。
③ 収入を増加するための具体的な取組みが行われたか。	4	収入向上を図っている。 以下のとおり、取り組んでいる。 1 日常の施設巡回を実施し、安全な施設づくりに努めた。 2 受動喫煙防止対策を実施し、利用者の健康に配慮した。 3 新型コロナウイルス感染防止の徹底（消毒の設置、非接触型体温計の設置）を実施した。 4 市立小学校、市内施設及び近隣の文化会館へポスターやイベントチラシを配布、ホームページやSNSを活用、又マスクミに取り材協力をするなど、より多くの人に情報がいきわたるよう努めた。 5 多くの来場者が見込まれる開花期の古代運會館や産業文化会館のイベント開催時において、はにわづくり出張講座を3回開催し、気軽に体験できる機会を提供した。 6 施設利用者の問い合わせや予約受付等に対し、電話やメールなどを活用し、個々のニーズに合った方法で回答を行った。 7 公共施設予約システムを活用し、空席状況を周知した。 8 個々のレベルに合わせたはにわづくりの指導を行うことで、ものづくりの楽しさを提供した。 9 民間業者や公共団体と連携し、（粘土代）割引事業を実施することで、お得にはにわづくりを体験できる機会を提供した。 10 遠方の利用者に対し、焼きあがった作品の発送サービスを実施し、便宜を図った。 11 窯焼きをしなくてもはにわ調の色をした粘土を利用し、作製日当日の持ち帰りを可能にした。 12 完成作品の納品は、窯焼き前に乾燥させるため一定の期間を要するが、可能な範囲で短縮を図り、利用者の希望日に合わせて焼き上げるなど、柔軟に対応した。 13 はにわづくり体験の所要時間は通常1時間30分程度を必要とするが、時間に余裕がない場合でも作製可能な小物作製講座を実施し、便宜を図った。 14 オリジナルグッズの商品を充実させ、土産品として販売することで、時間の都合などではにわづくり体験ができなかった方のニーズに応えた。 15 フリーWi-Fi（フリースポット）インターネットの環境を整え、利用者の利便性に努めた。 16 新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら利用者に対して安全・安心に利用していただくよう努めた。 17 団体予約を受けた際は、園内の屋外レストハウスを借用し、受入れを可能にした。 18 QRコード決済を導入し、キャッシュレス化を実現した。 19 市立小学校の先生に作り方の指導及び道具の貸出しを行うことで、校内での体験が可能となった。		4	収入を増加させるため各種取り組みがなされた。

指定管理者評価表

④	経費の効率的・効果的な執行がなされたか。	3	効果的に執行している。 以下のとおり、実施している。 1 スタッフの適正な配置により臨時職員賃金の節減を実施した。 2 古材の活用等を行い、消耗品費の節減を実施した。 3 業の効率的な運転により燃料費の節減を実施した。 4 照明や空調設備の効率的な運転及びクールビズやウォームビズの推奨ポスターを掲示することで光熱水料費を節減したが、電気料の高騰により、支出金額が増額となった。 5 利用券等必要最低限を作成し、印刷製本費を節減した。 6 インターネット環境を整え、問い合わせや調査等をネット検索に変更することで、通信運搬費を節減した。	3	経費削減に努められている。
⑤	清掃、警備、保守点検等の再委託業務がある場合、それらが適正な水準で行われ、経費が最小限となるような工夫がなされたか。	3	工夫している。 保守点検業務委託については、適正な水準で最小限の価格となるよう仕様書の見直しを行い、見積り合わせにより最低価格業者と契約を締結している。	3	保守点検業務について仕様書の見直しを行う等工夫が見られた。
⑥	環境に配慮した取組みがなされていたか。	3	取組みを行っている。 電気のごまめな消灯や空調温度を28℃設定にするなど省エネに努めている。また、古紙などの再利用を行い、ごみの削減を実施している。	3	電気の節電やエアコンの適正温度設定などの取組みが行われた。
		19	2次評価者合計	19	

II 結果、成果評価

原則として、指定管理期間の初年度に設定した項目は変更できないものとします。

関連する評価項目	評価する分野	指標名	1次評価者（指定管理者）による評価					2次評価者（施設所管課）による評価			
			評価点	目標値/実績/増減の理由など					評価点	評価の理由	
				R3	R4	R5	R6	R7			
2-⑨ 2-⑩ 2-⑬	利用者の増加	施設の利用者数	5	目標	4000	4000	4100	4150	4200	5	目標値を大幅に上回った。
			実績	4043	5517						
			理由	PR活動を重点的に行ったため、目標を上回ることが出来た。							
1-① 1-② 1-③ 3-④ 3-⑤ 3-⑦ 3-⑧	施設の安全性・維持管理	清掃・点検等の頻度	4	目標	清掃/毎日実施 日常点検/毎日実施	清掃/毎日実施 日常点検/毎日実施	清掃/毎日実施 日常点検/毎日実施	清掃/毎日実施 日常点検/毎日実施	清掃/毎日実施 日常点検/毎日実施	5	新型コロナウイルスに配慮した対策として毎日実施された。
			実績	清掃/毎日実施 日常点検/毎日実施	清掃/毎日実施 日常点検/毎日実施						
			理由	感染症対策を含め日常清掃及び日常点検を毎日行っている。							
4-③ 4-④ 4-⑤	収支計画の安定性	収支の黒字額	5	目標	2,811,000	2,902,000	2,900,000	2,960,000	3,020,000	5	目標値を大幅に上回った。
			実績	3,008,291	3,843,006						
			理由	団体客の受入れや集客目的の事業展開により、利用向上を図ったことから収益目標を達することが出来た。							
			14	2次評価者合計					15		

2次評価者からの指導事項	施設の管理運営や利用者の利便性向上など、概ね適切に運営されている。また、施設の利用者数及び収支の黒字額が目標値を大幅に上回ったことは評価される。
--------------	--

1次評価者の総合評価		2次評価者の総合評価		▶	100点換算		総合評価	
合格点	123	合計点	119		66.1	B		
満点	180	満点	180					